

たてしん通信

011号



2月6日、優れた経営をする地域の企業をたたえ、地域経済の発展につなげようと令和4（2022）年度創設された「たてしん地域優秀企業表彰制度」の第2回表彰式が当金庫本店で開催されました。

受賞企業は次ページで詳しくご紹介しています。



『千葉県PRマスコットキャラクター チーバくん』



ちばSDGs

ちばSDGsパートナー 933号

令和6(2024)年4月15日



地域と共に、皆様と共に

館山信用金庫

<https://www.shinkin.co.jp/tateyama/>



令和5(2023)年度 たてしん地域優秀企業表彰 受賞企業紹介

〇たてしん地域優秀企業表彰とは〇

南房総地域において、地域経済への貢献、地域活動への取り組み等に顕著な功績を残した事業者等を年1回表彰し、取り組みを地域内外に紹介することで、当該企業や地域のイメージ向上、地域活性化に向けた機運向上等につなげることを目的としています。

優秀大賞
地域未来
創造賞



丸高グループ (館山市)

大正9(1920)年創業。地域活性化を企業ミッションとして掲げる。

近年災害が多発する中、ウォーターサーバー事業を通じて館山市と災害時の飲料水供給に関する協定を締結。以前締結した災害時の燃料供給協定と併せて、地域のライフラインを支えている。

また、電気自動車に関連する事業や、グループ全社で使用しているLPガスをCO2排出が実質ゼロになるカーボンニュートラルLPガスにすべて切り替え、地域企業への販売も開始するなど、地域の脱炭素化に向けた取り組みを行っている。加えて、従業員の子育てしやすい環境整備にも積極的に取り組んでいる。

更には、令和6(2024)年2月にオープンした「道の駅グリーンファーム館山」の施設整備や運営を担い、観光面からも地域づくりを牽引している。

優秀賞
地域
コラボ賞



株式会社須藤牧場 (館山市)

大正時代に創業し、地域共生を理念に、日本でも珍しい放牧場やフリーストール牛舎を採用している。約100頭の乳牛を飼育、年間搾乳量は550トンにのぼる。

令和元(2019)年から地域の飲食店とコラボし、同社のアイスを使って各店が独自にアレンジをしたシェイクを提供する「生シェイク祭り」を開催した。令和5(2023)年には86店舗が参加し、各店の個性を引き出した魅力的な商品開発・売上拡大につながっている。

また、生乳の品質向上の取り組みや酪農体験・教育活動、メタンガス低減牛乳の開発など、さまざまな取り組みが評価され、「関東生乳品質改

善共励会 最優秀賞」・「日本農林漁業振興会 会長賞」を受賞、中小企業後継者のビジネスコンテスト「アトツギ甲子園」ファイナリスト、第一回「ちばガストロノミーAWARD」生産者部門大賞などの実績を残している。

たてしん中小企業景況レポート No.25

令和6年(2024年)1月～3月

編集・発行：館山信用金庫
支援部
TEL:0470-29-3015



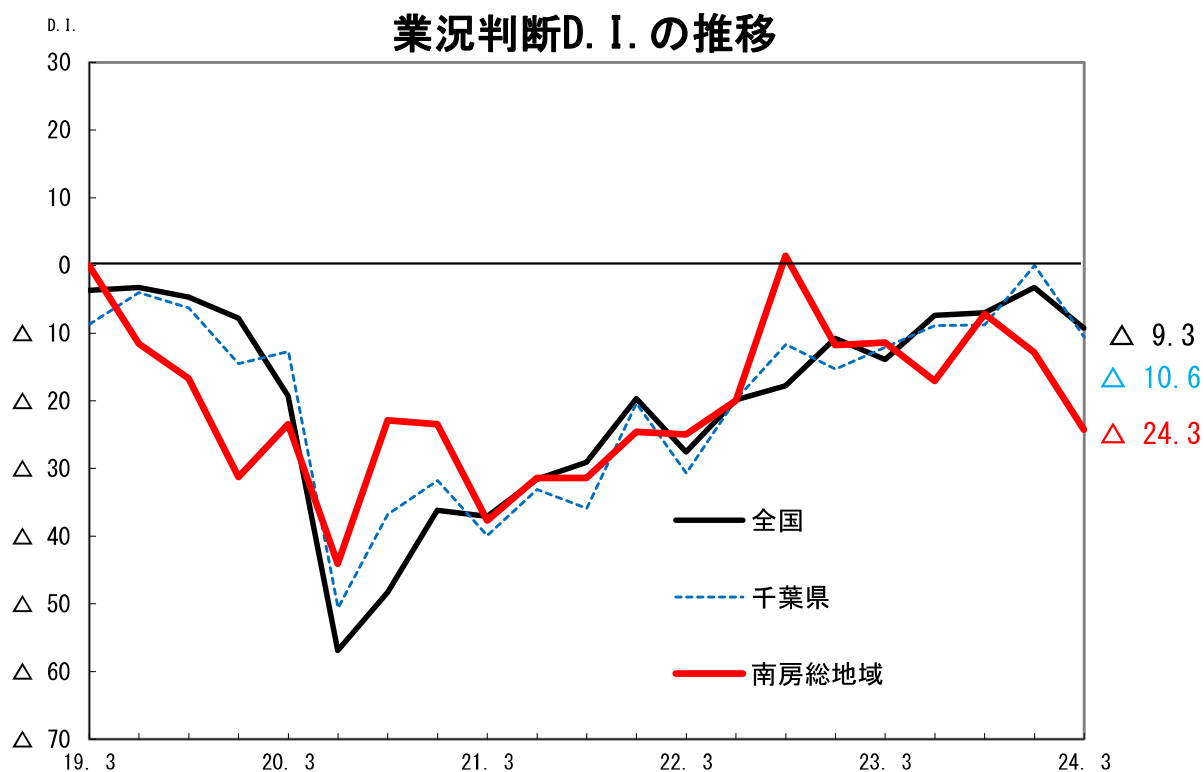
地域と共に、皆様と共に

館山信用金庫

<概況>

令和6年(2024年)1～3月期の全国の業況判断D.I.は $\Delta 9.3$ 、前期に比べ6.0ポイントの低下となった。

なお、今回の業況判断D. I. は、前回調査時における今期見通し($\Delta 8.0$)を1.3ポイント下回った。 ※業況判断D.I. (「良い」と回答した割合から「悪い」と回答した割合の差、プラスほど良い)



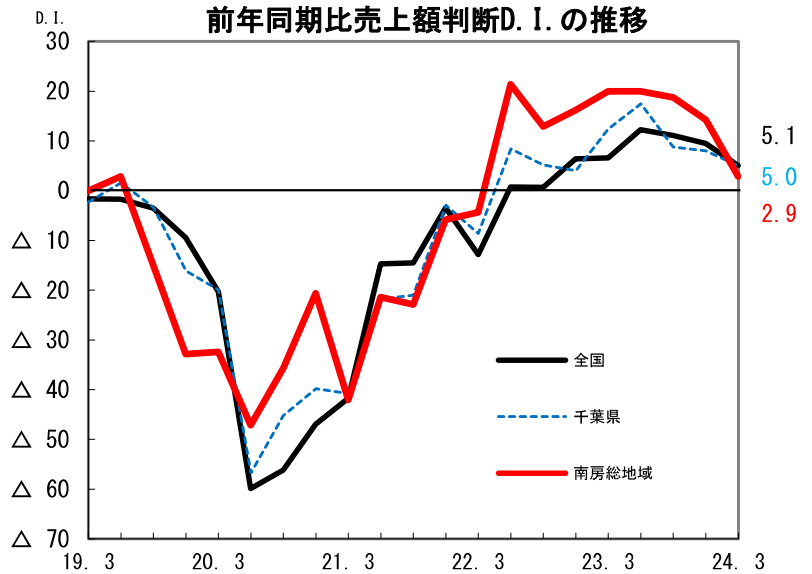
千葉県の業況判断D.I.は $\Delta 10.6$ と、前期に比べ10.6ポイントの低下となった。

南房総地域の業況判断D.I.は $\Delta 24.3$ と、前期に比べ11.4ポイントの低下となった。

※D.I.とは、Diffusion Indexの略で企業の業況感や人員の過不足などの各種判断を指標化したものです

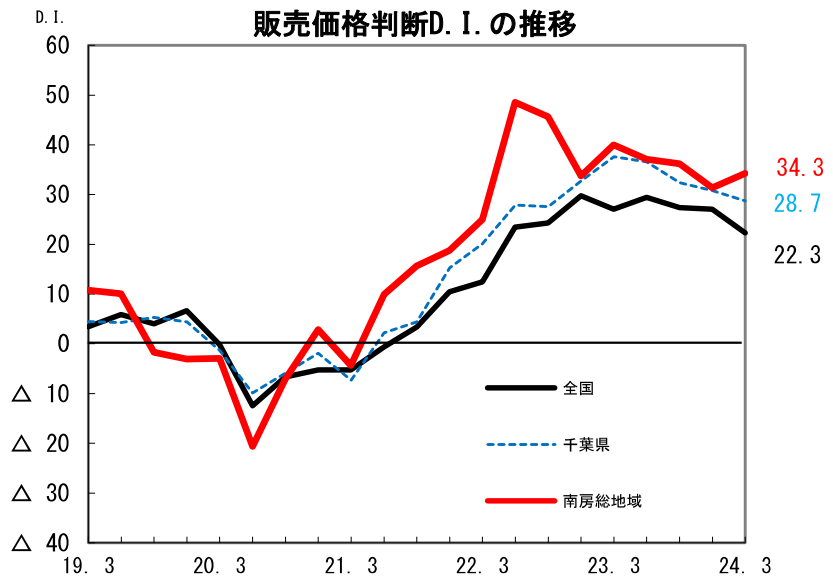
(全国・千葉・南房総)
売上は引き続きプラス水準

全国の前年同期比売上額判断D.I.は5.1となった。
南房総地域でも、2.9となり全国・千葉県・南房総ともに引き続きプラス水準を維持している。
※売上額判断D.I.（「増加した」と回答した割合から「減少した」と回答した割合の差、プラスほど良い）



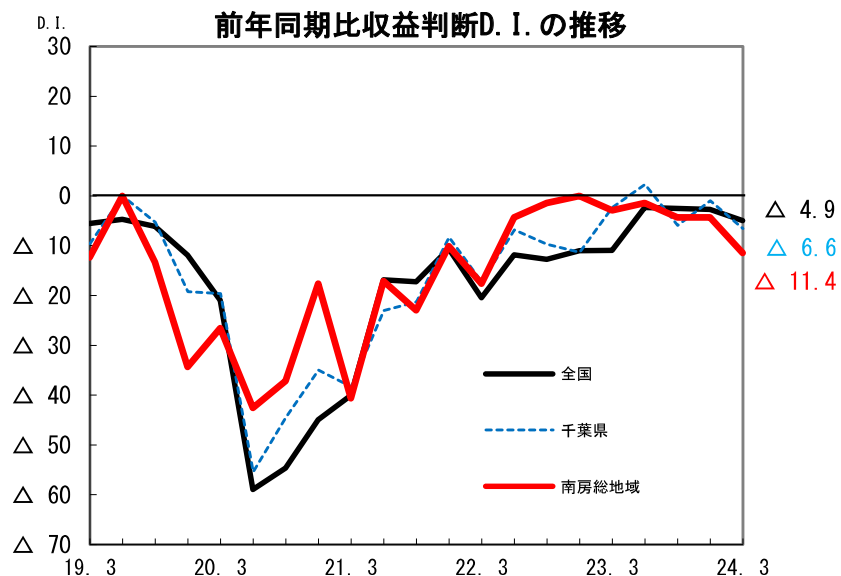
(全国・千葉・南房総)
販売価格は高水準を維持

全国の販売価格判断D.I.は22.3と前期比4.8ポイント低下となった。
南房総地域では、34.3と前期比2.9ポイント増加となった。
※販売価格判断D.I.（「上がった」と回答した割合から「下がった」と回答した割合の差、プラスほど販売価格が上昇）



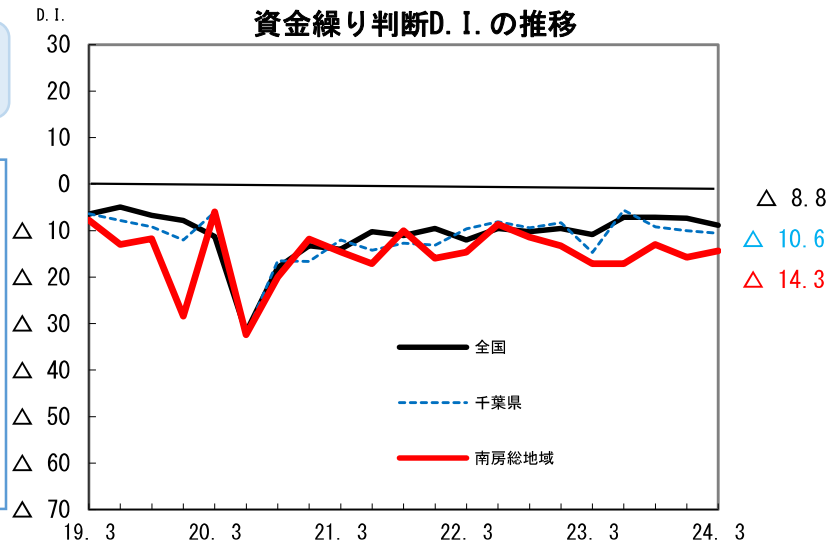
(全国・千葉・南房総)
収益は前年同期比低下

全国の前年同期比収益判断D.I.は△4.9と依然としてマイナスの水準となった。
南房総地域でも、△11.4と引き続きマイナスの水準となった。
※収益判断D.I.（「増加した」と回答した割合から「減少した」と回答した割合の差、プラスほど良い）



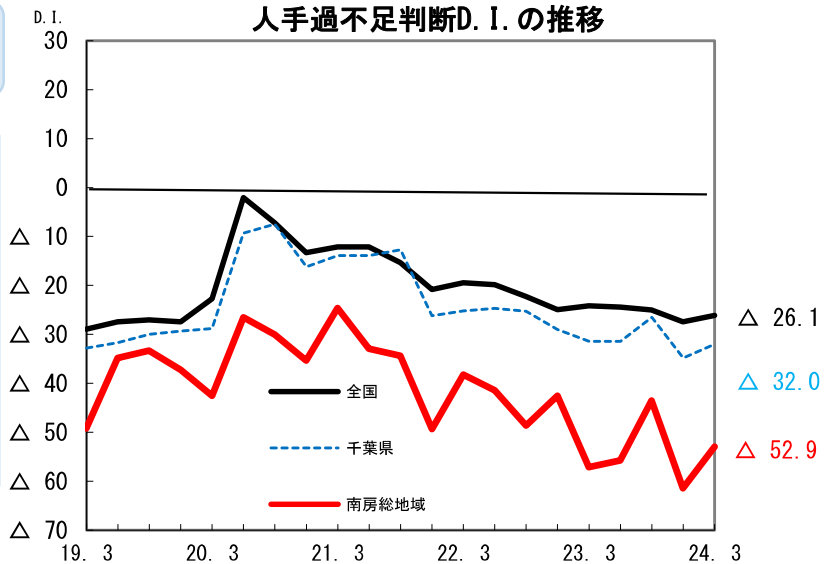
(南房総)
資金繰りは改善傾向

全国の資金繰り判断D.I.は△8.8と前期比1.5ポイント低下となった。
南房総地域では、△14.3と前期比1.4ポイントの改善となった。
※資金繰り判断D.I.（「楽(らく)」と回答した割合から「厳しい」と回答した割合の差、プラスほど良い）



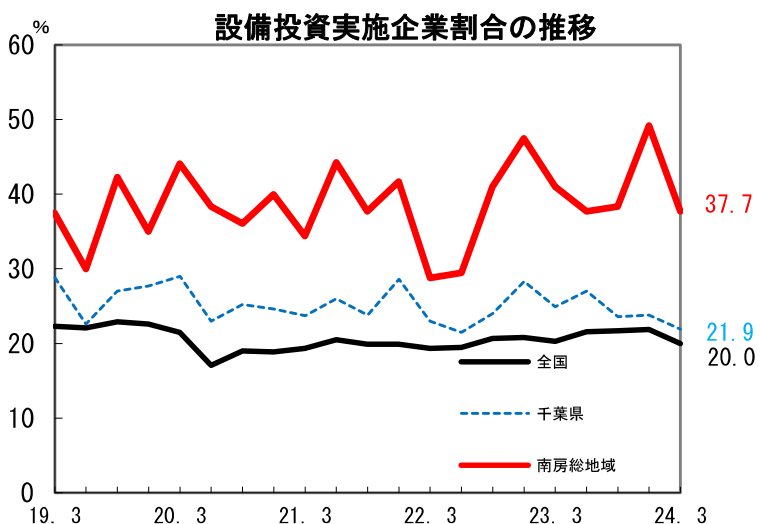
(南房総)
人手不足感は依然として強い

全国の人手過不足判断D.I.は△26.1と前期比1.3ポイント縮小し、若干弱まった。
南房総地域では、前期比8.5ポイント縮小の△52.9と依然として強い。
※人手過不足判断D.I.（「過剰」と回答した割合から「不足」と回答した割合の差、マイナスほど人手不足）



(南房総)
設備投資は高水準を維持

全国の設備投資実施企業割合は20.0%と前期比1.9ポイント低下となった。
南房総地域では37.7%と前期比11.5ポイント低下したが、高水準を維持している。
※設備投資実施企業割合（設備投資を実施した企業の割合）



(令和6年(2024年)1月~3月)

◆業況判断 D. I. ◆

業況判断 D. I. を見ると、全国では前期比 6.0 ポイント低下の $\Delta 9.3$ 、千葉県では前期比 10.6 ポイント低下の $\Delta 10.6$ 、南房総地域においては前期比 11.4 ポイント低下の $\Delta 24.3$ となり、**全国・千葉県・南房総ともに低下**となりました。

今回の調査は南房総地域がいちご狩りや花摘みのシーズンを迎えた 3 月上旬の調査でしたが、全国・千葉県・南房総地域ともに低下という結果となり、原材料高や人手不足の影響のほか、特に千葉県、南房総地域では 2 月下旬から頻発している千葉県東方沖地震の影響が懸念されます。

次期の予想業況判断 D. I. を見ると、全国 $\Delta 5.4$ (今期比 $+3.9$)、千葉県 $\Delta 7.9$ (今期比 $+2.7$)、南房総地域 $\Delta 20.0$ (今期比 $+4.3$)と、**全国・千葉県・南房総地域で改善**が見込まれています。

◆南房総地域の業況判断 D. I. (前期比) ◆

南房総地域の業況判断 D. I. の業種別では、**製造業 $\Delta 64.3$ (前期比 $\Delta 28.6$)**、卸売業 $\Delta 30.0$ (前期比 $\Delta 10.0$)、建設業 $\Delta 7.7$ (前期比 $\Delta 15.4$)、不動産業 0.0 (前期比 $\Delta 22.2$)と**6 業種中 4 業種が低下**となりました。一方、小売業 $\Delta 10.0$ (前期比 ± 0.0)と横這い、サービス業のみ $\Delta 21.4$ (前期比 $+7.2$)と上昇しました。

◆南房総地域の次期の見込み ◆

次期については、業種別では製造業と卸売業、不動産業が改善を見込んでいる一方、小売業と建設業が横這い、サービス業で低下を見込んでいます。特に**製造業 $\Delta 57.1$ の水準が低く**、要因としては物流業界の 2024 年問題を見据えた運送コスト増加や発送から納品までのリードタイムの長期化等の影響が考えられます。

◆売上額判断 D. I. (前年同期比・南房総地域) ◆

南房総地域の売上額判断 D. I. は引続きプラスとなりました。水準は全国・千葉県を 2021 年 12 月期調査ぶりに下回りましたが、業種別で見ると、小売業、サービス業、建設業の 3 業種においてプラスの水準となり、**製造業は 2021 年 9 月期以来のマイナス水準**となりました。加えて製造業は販売価格 D. I. も 14.3 (前期比 $\Delta 28.6$)と低下していることから、人手不足による売上の機会損失、また、原材料価格やエネルギーコストに比べて価格転嫁の難しい人件費による影響と推測されます。

◆収益判断 D. I. (前年同期比・南房総地域) ◆

南房総地域の収益判断 D. I. は、 $\Delta 11.4$ となりました。業種別で見ると、**製造業 $\Delta 35.7$** 、卸売業 $\Delta 40.0$ 、小売業 20.0 、サービス業 $\Delta 21.4$ 、建設業 0.0 、不動産業 22.2 となりました。**製造業は売上額判断 D. I. や人手過不足判断 D. I. も大きくマイナス水準**となっており、人手不足による売上額減少に繋がり、収益を圧迫したものと推測されます。

◆資金繰り判断D. I. (南房総地域)◆

資金繰り判断D. I. を業種別で見ると、小売業 10.0 (前期比+10.0) とサービス業△28.6 (前期比+7.1)、不動産 11.1 (前期比+11.1) と3業種で改善となりました。

その他の3業種は、卸売業△10.0 (前期比±0.0) と横這い、**製造業△35.7 (前期比△7.1)**、建設業△15.4 (前期比△7.7) と低下しました。なお、全業種の水準は△14.3 と全国△8.8、千葉県△10.6 を下回っており**南房総地域においては依然として資金繰りがやや厳しい**状況にあると窺えます。

◆人手過不足判断D. I. (南房総地域)・設備投資実施企業割合 (南房総地域)◆

人手過不足判断D. I. を見ると、全国・千葉県に比べて依然として低水準で推移する中で今期は△52.9 (前期比+8.5) と若干弱まりました。**全ての業種でマイナスの水準**となっていますが、特に**製造業△64.3 (前期比△21.4)** で人手不足感が強まりました。

一方、設備投資企業割合は 37.7% (前期比△11.5) と**全国・千葉県に比べて引き続き高水準を維持**しています。業種別ではサービス業が 57.1% と最も高くなっており、新しい機械設備の導入や老朽化した機械の入替が多く見られました。

◆特別調査「中小企業における人材戦略」について◆

「現在の人材の状況について懸念していること」については、「高齢化が進んでいる」が全国は 46.4% に対して、南房総は 61.8%、「若手が不足している」が全国は 43.6% に対して、南房総は 51.5% となり、**全国に比べて高齢化が進み、若手の不足が深刻**であると窺えます。

「今後の貴社の人材に対する対応策」については、「中途採用の強化」が 66.7% と最も多く、全国・南房総ともに「新卒採用の強化」を上回りました。転職へのイメージが変化してきたことや即戦力として活躍を期待できる人材を確保出来るといった点から、中途採用を強化する中小企業等が増えてきていることが窺えます。

「人材定着などに向けて、2024年中に賃金の引上げを実施するか」については、賃上げ実施企業割合が全国では約5割となったのに対し、**南房総地域では約4割**にとどまり、そのうち「2%以上の賃上げ実施」は 29.4% と全体の約3割にとどまりました。一方で、「2%未満の賃上げ実施」は 11.8% と、全体の約1割にとどまりました。

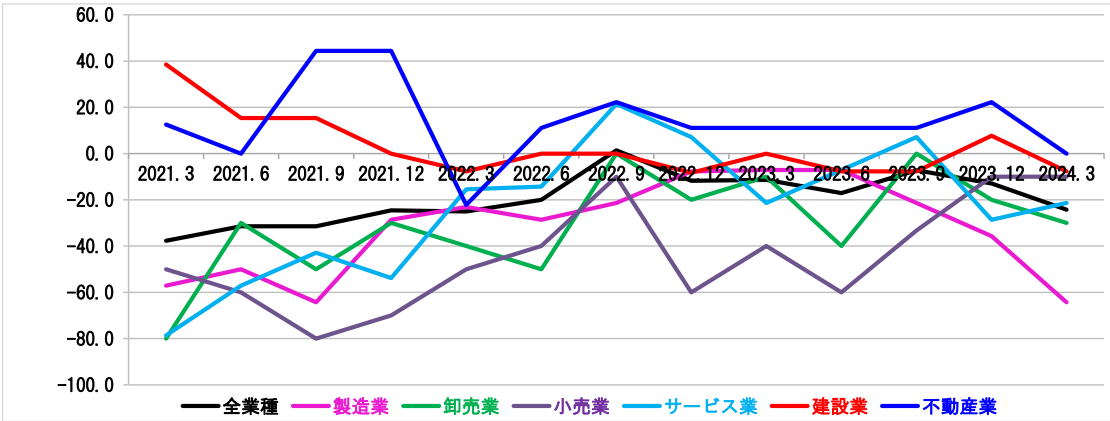
また、「賃上げ実施せず」は、58.9% と、約6割にのぼっており、実施しなかった理由としては、「今後の業況見通しが不透明」が 22.1% と最も多く、次いで「賃上げに見合う価格転嫁ができてない」が 13.2% となりました。

当金庫では取引先の人材支援を目的に(財)産業雇用安定センターと連携協定を締結しております。当センターは、全国の労働局・ハローワークと連携し、人材を確保したい企業に対するサポートや新入社員への研修等を行っています。関心のある方は当金庫までお問合せください。

※本景況レポートは、当金庫営業店ロビーの金利表示ボード画面及び房日新聞電子版(QRコード掲載)にて動画による解説を行っております。

主要項目時系列表

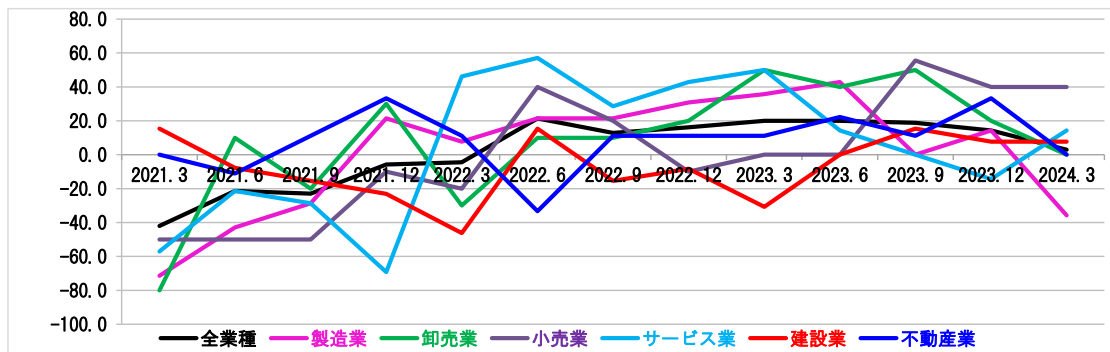
業況判断 D.I



区分	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6
全業種	-37.7	-31.4	-31.4	-24.6	-25.0	-20.0	1.4	-11.8	-11.4	-17.1	-7.2	-12.9	-24.3	-20.0
製造業	-57.1	-50.0	-64.3	-28.6	-23.1	-28.6	-21.4	-7.7	-7.1	-7.1	-21.4	-35.7	-64.3	-57.1
卸売業	-80.0	-30.0	-50.0	-30.0	-40.0	-50.0	0.0	-20.0	-10.0	-40.0	0.0	-20.0	-30.0	0.0
小売業	-50.0	-60.0	-80.0	-70.0	-50.0	-40.0	-10.0	-60.0	-40.0	-60.0	-33.3	-10.0	-10.0	-10.0
サービス業	-78.6	-57.1	-42.9	-53.8	-15.4	-14.3	21.4	7.1	-21.4	-7.1	7.1	-28.6	-21.4	-35.7
建設業	38.5	15.4	15.4	0.0	-7.7	0.0	0.0	-8.3	0.0	-7.7	-7.7	7.7	-7.7	-7.7
不動産業	12.5	0.0	44.4	44.4	-22.2	11.1	22.2	11.1	11.1	11.1	11.1	22.2	0.0	11.1

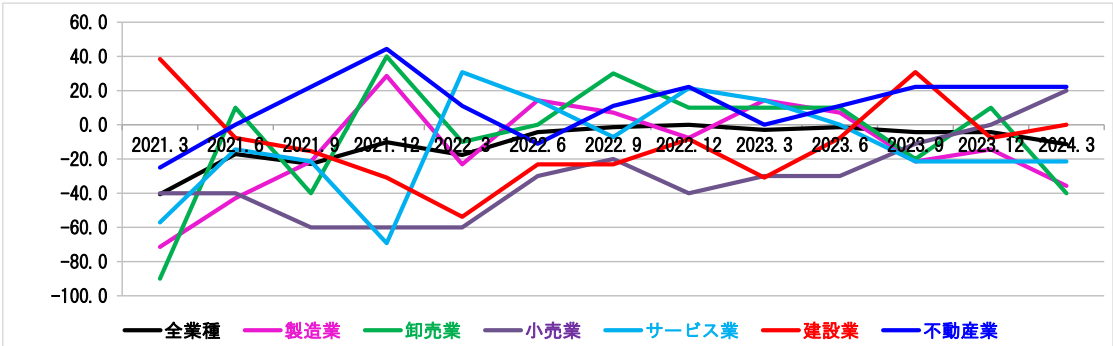
※ 2024.6は、見通しである。

売上額判断 D.I (前年同期比)



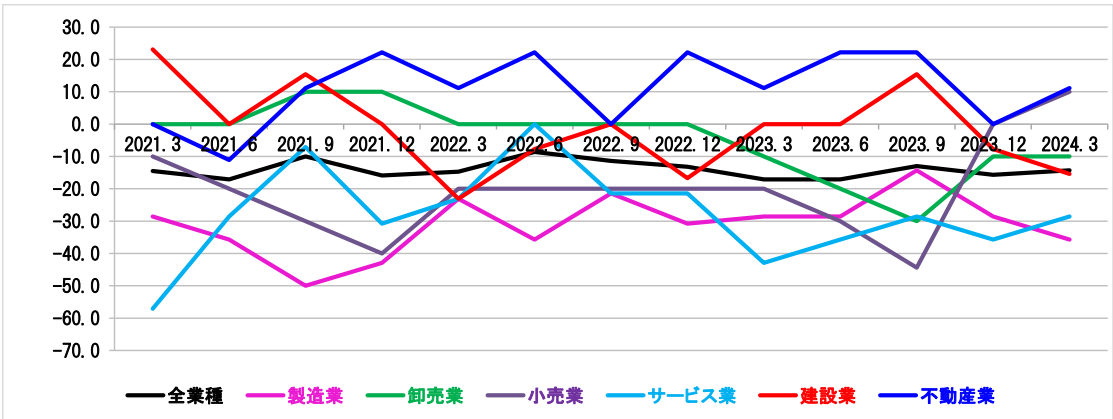
区分	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3
全業種	-42.0	-21.4	-22.9	-5.8	-4.4	21.4	12.9	16.2	20.0	20.0	18.8	14.3	2.9
製造業	-71.4	-42.9	-28.6	21.4	7.7	21.4	21.4	30.8	35.7	42.9	0.0	14.3	-35.7
卸売業	-80.0	10.0	-20.0	30.0	-30.0	10.0	10.0	20.0	50.0	40.0	50.0	20.0	0.0
小売業	-50.0	-50.0	-50.0	-10.0	-20.0	40.0	20.0	-10.0	0.0	0.0	55.6	40.0	40.0
サービス業	-57.1	-21.4	-28.6	-69.2	46.2	57.1	28.6	42.9	50.0	14.3	0.0	-14.3	14.3
建設業	15.4	-7.7	-15.4	-23.1	-46.2	15.4	-15.4	-8.3	-30.8	0.0	15.4	7.7	7.7
不動産業	0.0	-11.1	11.1	33.3	11.1	-33.3	11.1	11.1	11.1	22.2	11.1	33.3	0.0

収益判断 D.I (前年同期比)



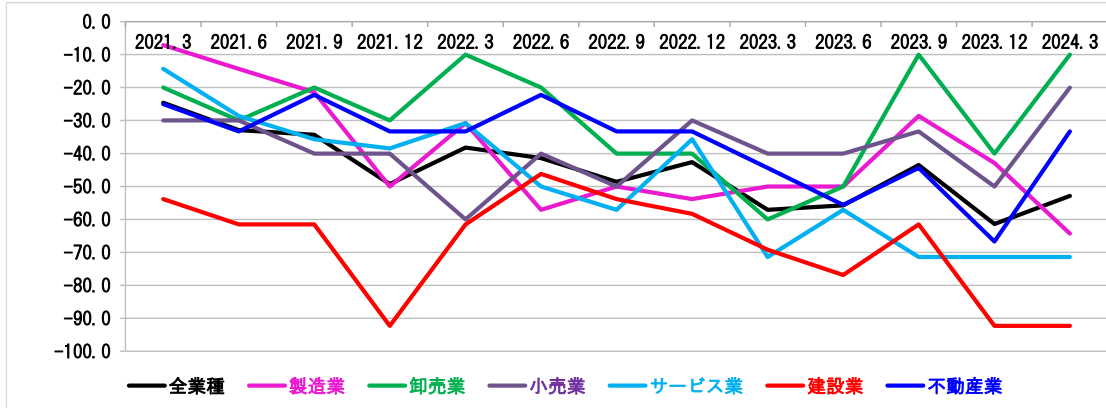
区分	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3
全業種	-40.6	-17.1	-22.9	-10.1	-17.6	-4.3	-1.4	0.0	-2.9	-1.4	-4.3	-4.3	-11.4
製造業	-71.4	-42.9	-21.4	28.6	-23.1	14.3	7.1	-7.7	14.3	7.1	-21.4	-14.3	-35.7
卸売業	-90.0	10.0	-40.0	40.0	-10.0	0.0	30.0	10.0	10.0	10.0	-20.0	10.0	-40.0
小売業	-40.0	-40.0	-60.0	-60.0	-60.0	-30.0	-20.0	-40.0	-30.0	-30.0	-11.1	0.0	20.0
サービス業	-57.1	-14.3	-21.4	-69.2	30.8	14.3	-7.1	21.4	14.3	0.0	-21.4	-21.4	-21.4
建設業	38.5	-7.7	-15.4	-30.8	-53.8	-23.1	-23.1	-8.3	-30.8	-7.7	30.8	-7.7	0.0
不動産業	-25.0	0.0	22.2	44.4	11.1	-11.1	11.1	22.2	0.0	11.1	22.2	22.2	22.2

資金繰り判断 D.I (楽-苦)



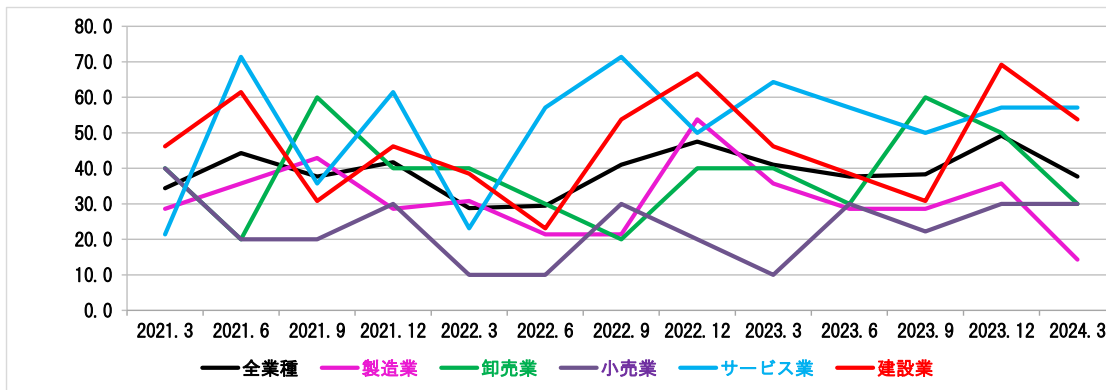
区分	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3
全業種	-14.5	-17.1	-10.0	-15.9	-14.7	-8.6	-11.4	-13.2	-17.1	-17.1	-13.0	-15.7	-14.3
製造業	-28.6	-35.7	-50.0	-42.9	-23.1	-35.7	-21.4	-30.8	-28.6	-28.6	-14.3	-28.6	-35.7
卸売業	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-10.0	-20.0	-30.0	-10.0	-10.0
小売業	-10.0	-20.0	-30.0	-40.0	-20.0	-20.0	-20.0	-20.0	-20.0	-30.0	-44.4	0.0	10.0
サービス業	-57.1	-28.6	-7.1	-30.8	-23.1	0.0	-21.4	-21.4	-42.9	-35.7	-28.6	-35.7	-28.6
建設業	23.1	0.0	15.4	0.0	-23.1	-7.7	0.0	-16.7	0.0	0.0	15.4	-7.7	-15.4
不動産業	0.0	-11.1	11.1	22.2	11.1	22.2	0.0	22.2	11.1	22.2	22.2	0.0	11.1

人手不足判断 D.I (過剰-不足)



区分	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3
全業種	-24.6	-32.9	-34.3	-49.3	-38.2	-41.4	-48.6	-42.6	-57.1	-55.7	-43.5	-61.4	-52.9
製造業	-7.1	-14.3	-21.4	-50.0	-30.8	-57.1	-50.0	-53.8	-50.0	-50.0	-28.6	-42.9	-64.3
卸売業	-20.0	-30.0	-20.0	-30.0	-10.0	-20.0	-40.0	-40.0	-60.0	-50.0	-10.0	-40.0	-10.0
小売業	-30.0	-30.0	-40.0	-40.0	-60.0	-40.0	-50.0	-30.0	-40.0	-40.0	-33.3	-50.0	-20.0
サービス業	-14.3	-28.6	-35.7	-38.5	-30.8	-50.0	-57.1	-35.7	-71.4	-57.1	-71.4	-71.4	-71.4
建設業	-53.8	-61.5	-61.5	-92.3	-61.5	-46.2	-53.8	-58.3	-69.2	-76.9	-61.5	-92.3	-92.3
不動産業	-25.0	-33.3	-22.2	-33.3	-33.3	-22.2	-33.3	-33.3	-44.4	-55.6	-44.4	-66.7	-33.3

設備投資実施企業割合 (%)

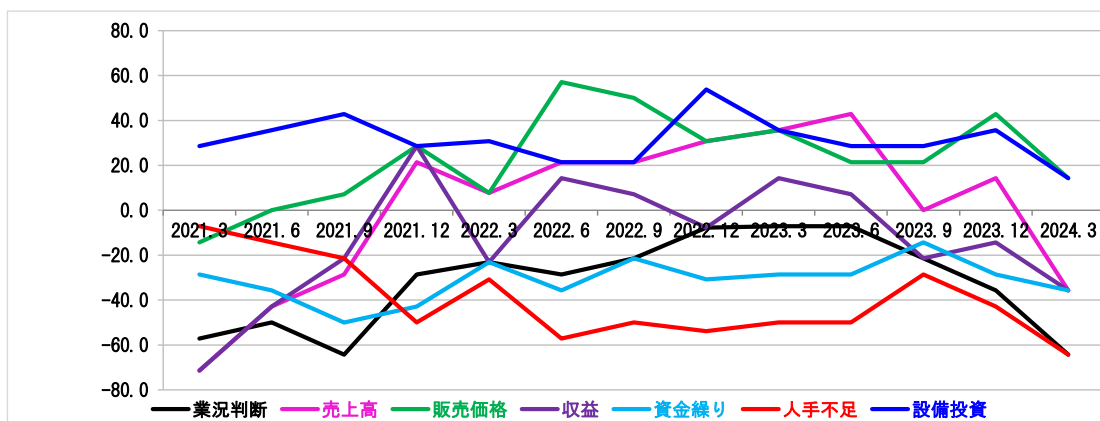


区分	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3
全業種	34.4	44.3	37.7	41.7	28.8	29.5	41.0	47.5	41.0	37.7	38.3	49.2	37.7
製造業	28.6	35.7	42.9	28.6	30.8	21.4	21.4	53.8	35.7	28.6	28.6	35.7	14.3
卸売業	40.0	20.0	60.0	40.0	40.0	30.0	20.0	40.0	40.0	30.0	60.0	50.0	30.0
小売業	40.0	20.0	20.0	30.0	10.0	10.0	30.0	20.0	10.0	30.0	22.2	30.0	30.0
サービス業	21.4	71.4	35.7	61.5	23.1	57.1	71.4	50.0	64.3	57.1	50.0	57.1	57.1
建設業	46.2	61.5	30.8	46.2	38.5	23.1	53.8	66.7	46.2	38.5	30.8	69.2	53.8

※ 不動産業は、調査対象外である。

業種別時系列表

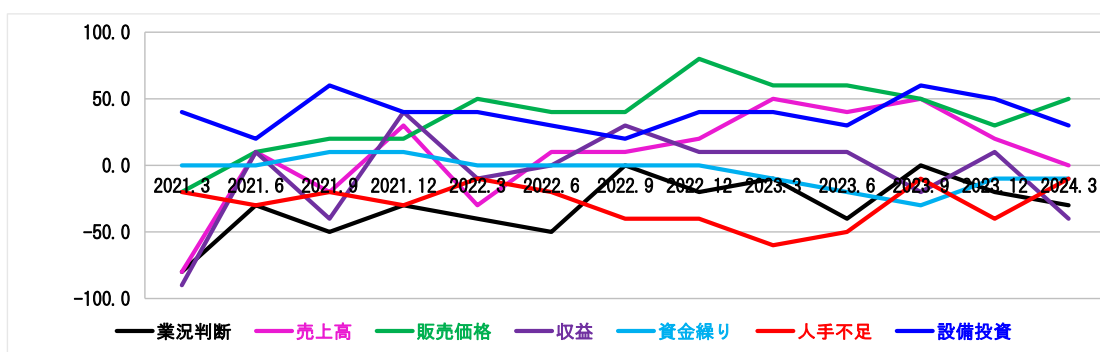
製造業



区分	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6
業況判断	-57.1	-50.0	-64.3	-28.6	-23.1	-28.6	-21.4	-7.7	-7.1	-7.1	-21.4	-35.7	-64.3	-57.1
売上高	-71.4	-42.9	-28.6	21.4	7.7	21.4	21.4	30.8	35.7	42.9	0.0	14.3	-35.7	
販売価格	-14.3	0.0	7.1	28.6	7.7	57.1	50.0	30.8	35.7	21.4	21.4	42.9	14.3	
収益	-71.4	-42.9	-21.4	28.6	-23.1	14.3	7.1	-7.7	14.3	7.1	-21.4	-14.3	-35.7	
資金繰り	-28.6	-35.7	-50.0	-42.9	-23.1	-35.7	-21.4	-30.8	-28.6	-28.6	-14.3	-28.6	-35.7	
人手不足	-7.1	-14.3	-21.4	-50.0	-30.8	-57.1	-50.0	-53.8	-50.0	-50.0	-28.6	-42.9	-64.3	
設備投資	28.6	35.7	42.9	28.6	30.8	21.4	21.4	53.8	35.7	28.6	28.6	35.7	14.3	

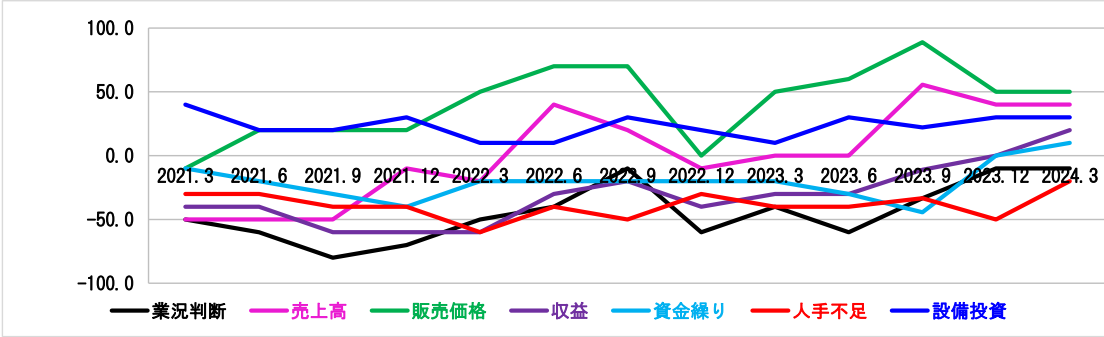
※ 2024.6は、見通しである。

卸売業



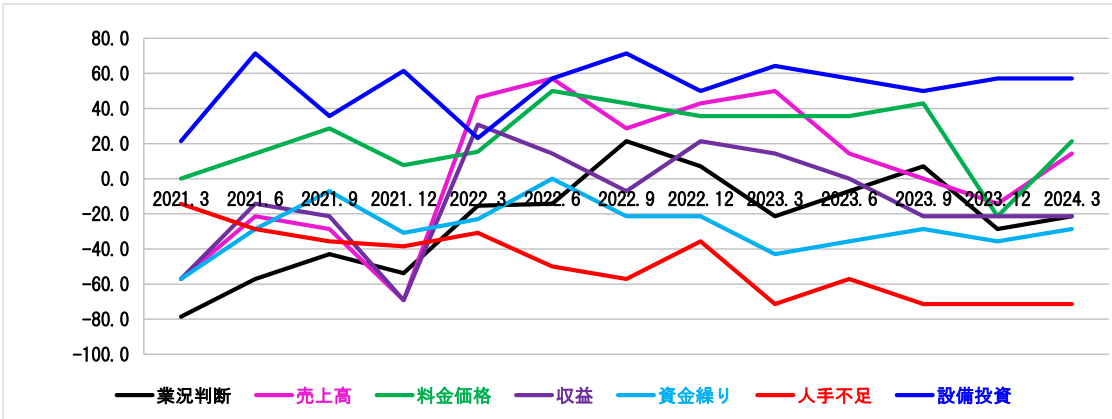
区分	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6
業況判断	-80.0	-30.0	-50.0	-30.0	-40.0	-50.0	0.0	-20.0	-10.0	-40.0	0.0	-20.0	-30.0	0.0
売上高	-80.0	10.0	-20.0	30.0	-30.0	10.0	10.0	20.0	50.0	40.0	50.0	20.0	0.0	
販売価格	-20.0	10.0	20.0	20.0	50.0	40.0	40.0	80.0	60.0	60.0	50.0	30.0	50.0	
収益	-90.0	10.0	-40.0	40.0	-10.0	0.0	30.0	10.0	10.0	10.0	-20.0	10.0	-40.0	
資金繰り	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-10.0	-20.0	-30.0	-10.0	-10.0	
人手不足	-20.0	-30.0	-20.0	-30.0	-10.0	-20.0	-40.0	-40.0	-60.0	-50.0	-10.0	-40.0	-10.0	
設備投資	40.0	20.0	60.0	40.0	40.0	30.0	20.0	40.0	40.0	30.0	60.0	50.0	30.0	

小売業



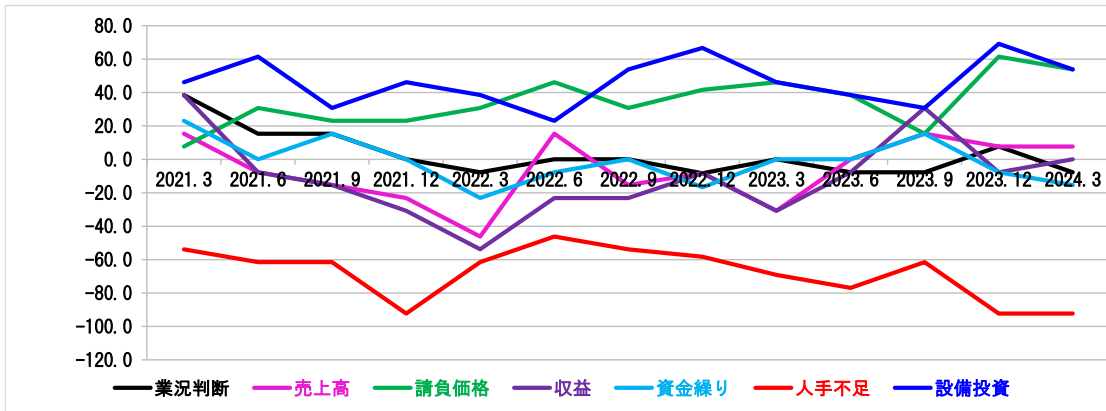
区分	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6
業況判断	-50.0	-60.0	-80.0	-70.0	-50.0	-40.0	-10.0	-60.0	-40.0	-60.0	-33.3	-10.0	-10.0	-10.0
売上高	-50.0	-50.0	-50.0	-10.0	-20.0	40.0	20.0	-10.0	0.0	0.0	55.6	40.0	40.0	40.0
販売価格	-10.0	20.0	20.0	20.0	50.0	70.0	70.0	0.0	50.0	60.0	88.9	50.0	50.0	50.0
収益	-40.0	-40.0	-60.0	-60.0	-60.0	-30.0	-20.0	-40.0	-30.0	-30.0	-11.1	0.0	20.0	20.0
資金繰り	-10.0	-20.0	-30.0	-40.0	-20.0	-20.0	-20.0	-20.0	-20.0	-30.0	-44.4	0.0	10.0	10.0
人手不足	-30.0	-30.0	-40.0	-40.0	-60.0	-40.0	-50.0	-30.0	-40.0	-40.0	-33.3	-50.0	-20.0	-20.0
設備投資	40.0	20.0	20.0	30.0	10.0	10.0	30.0	20.0	10.0	30.0	22.2	30.0	30.0	30.0

サービス業



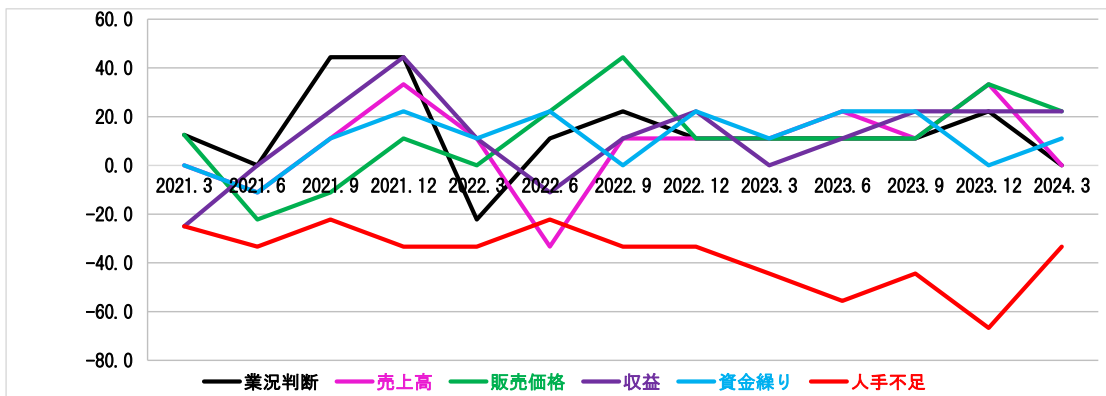
区分	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6
業況判断	-78.6	-57.1	-42.9	-53.8	-15.4	-14.3	21.4	7.1	-21.4	-7.1	7.1	-28.6	-21.4	-35.7
売上高	-57.1	-21.4	-28.6	-69.2	45.2	57.1	28.6	42.9	50.0	14.3	0.0	-14.3	14.3	14.3
料金価格	0.0	14.3	28.6	7.7	15.4	50.0	42.9	35.7	35.7	35.7	42.9	-21.4	21.4	21.4
収益	-57.1	-14.3	-21.4	-69.2	30.8	14.3	-7.1	21.4	14.3	0.0	-21.4	-21.4	-21.4	-21.4
資金繰り	-57.1	-28.6	-7.1	-30.8	-23.1	0.0	-21.4	-21.4	-42.9	-35.7	-28.6	-35.7	-28.6	-28.6
人手不足	-14.3	-28.6	-35.7	-38.5	-30.8	-50.0	57.1	-35.7	-71.4	-57.1	-71.4	-71.4	-71.4	-71.4
設備投資	21.4	71.4	35.7	61.5	23.1	57.1	71.4	50.0	64.3	57.1	50.0	57.1	57.1	57.1

建設業



区分	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6
業況判断	38.5	15.4	15.4	0.0	-7.7	0.0	0.0	-8.3	0.0	-7.7	-7.7	7.7	-7.7	-7.7
売上高	15.4	-7.7	-15.4	-23.1	-46.2	15.4	-15.4	-8.3	-30.8	0.0	15.4	7.7	7.7	7.7
請負価格	7.7	30.8	23.1	23.1	30.8	46.2	30.8	41.7	46.2	38.5	15.4	61.5	53.8	53.8
収益	38.5	-7.7	-15.4	-30.8	-53.8	-23.1	-23.1	-8.3	-30.8	-7.7	30.8	-7.7	0.0	0.0
資金繰り	23.1	0.0	15.4	0.0	-23.1	-7.7	0.0	-16.7	0.0	0.0	15.4	-7.7	-15.4	-15.4
人手不足	-53.8	-61.5	-61.5	-92.3	-61.5	-46.2	-53.8	-58.3	-69.2	-76.9	-61.5	-92.3	-92.3	-92.3
設備投資	46.2	61.5	30.8	46.2	38.5	23.1	53.8	66.7	46.2	38.5	30.8	69.2	53.8	53.8

不動産業



区分	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6
業況判断	12.5	0.0	44.4	44.4	-22.2	11.1	22.2	11.1	11.1	11.1	11.1	22.2	0.0	11.1
売上高	0.0	-11.1	11.1	33.3	11.1	-33.3	11.1	11.1	11.1	22.2	11.1	33.3	0.0	11.1
販売価格	12.5	-22.2	-11.1	11.1	0.0	22.2	44.4	11.1	11.1	11.1	11.1	33.3	22.2	22.2
収益	-25.0	0.0	22.2	44.4	11.1	-11.1	11.1	22.2	0.0	11.1	22.2	22.2	22.2	22.2
資金繰り	0.0	-11.1	11.1	22.2	11.1	22.2	0.0	22.2	11.1	22.2	22.2	0.0	11.1	11.1
人手不足	-25.0	-33.3	-22.2	-33.3	-33.3	-22.2	-33.3	-33.3	-44.4	-55.6	-44.4	-66.7	-33.3	-33.3

※ 設備投資は、調査対象外である。

中小企業における人材戦略について※抜粋

現在の人材の状況について懸念していること(3つまで回答)			今後の貴社の人材に対する対応策について(3つまで回答)		
項目	全国	南房総	項目	全国	南房総
若手が不足している	43.6%	51.5%	新卒採用の強化	24.8%	24.6%
高齢化が進んでいる	46.4%	61.8%	中途採用の強化	47.0%	66.7%
熟練者が不足している	17.6%	19.1%	シニア雇用(定年・再雇用)の促進	14.2%	14.5%
業務上必要な資格取得者が不足している	6.0%	7.4%	女性活躍推進	12.4%	18.8%
生産、販売現場で働く従業員が少ない	12.3%	16.2%	非正規社員の活用	11.4%	15.9%
営業で働く従業員が少ない	13.9%	26.5%	非正規社員の正社員登用	3.4%	2.9%
経理や事務などで働く内部の従業員が少ない	4.6%	4.4%	外国人の活用	9.4%	1.4%
管理職(店長、現場監督などを含む)が少ない	6.4%	11.8%	特に対応策の検討していない	33.4%	21.7%
規模(売上や利益)と比較して人員が多すぎる	2.4%	5.9%	「今後の貴社の人材に対する対応策」については、「中途採用の強化」が66.7%と最も多く、全国・南房総ともに「新卒採用の強化」を上回った。 転職へのイメージが変化してきたことや即戦力として活躍を期待できる人材を確保出来るといった点から、中途採用を強化する中小企業等が増えてきていることが窺える。		
懸念していることはない	17.9%	4.4%			

「現在の人材の状況について懸念していること」については、「高齢化が進んでいる」が全国は46.4%に対して、南房総は61.8%、「若手が不足している」が全国は43.6%に対して、南房総は51.5%となり、全国に比べて高齢化が進み、若手の不足が深刻であると窺える。

人材定着などに向けて、2024年中に賃金の引上げを実施するか

	項目	全国	南房総	
引上げ	0%以上2%未満	24.7%	11.8%	「人材定着などに向けて、2024年中に賃金の引上げを実施するか」については、賃上げ実施企業割合が全国では約5割となったのに対し、南房総地域では約4割にとどまり、そのうち「2%以上の賃上げ実施」は29.4%と全体の約3割にとどまった。 一方で、「2%未満の賃上げ実施」は11.8%と、全体の約1割にとどまった。 また、「賃上げ実施せず」は、58.9%と、約6割にのぼっている。実施しなかった理由としては、「今後の業績見通しが不透明」が22.1%と最も多く、次いで「賃上げに見合う価格転嫁ができてない」が13.2%となった。
	2%以上4%未満	17.7%	22.1%	
	4%以上6%未満	5.2%	4.4%	
	6%以上	1.4%	2.9%	
引上げない	賃上げに見合う価格転嫁ができてない	12.6%	13.2%	
	同業や同地域内の他社が上げていない	2.2%	1.5%	
	今後の業績見通しが不透明	13.4%	22.1%	
	売上の低迷や伸び悩み	5.8%	7.4%	
	これまでに賃金を引上げ済み	6.1%	10.3%	
	自社に従業員はいない(家族経営など)	11.0%	4.4%	

<調査の概要>

- ①調査時点: 令和6年(2024年)3月1日～7日
- ②調査方法: 当金庫による面接聞き取り方式、または対象企業先による直接記入方式。
 なお、全国および千葉県は信金中央金庫地域・中小企業研究所の調査による。
- ③分析方法: 各質問項目で「増加」(上昇)したとする企業が全体に占める構成比と「減少」(下降)したとする企業の構成比との差(D.I.)を中心に分析。
- ④調査地域: 当金庫の調査地域(南房総地域)は、千葉県館山市、南房総市、鴨川市、鋸南町の3市1町。
- ⑤対象企業: 全国の信用金庫の取引先で、特に回答企業のうち従業員20名未満の企業が7割を占めるなど、比較的小規模な企業が主体。
- ⑥標本数: 全国14,850企業(有効回答数13,294企業・回答率89.5%)
 千葉県323企業(有効回答数303企業・回答率93.8%)
 南房総地域 70企業(有効回答数70企業・回答率100%)

本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。したがって、投資等についてはご自身の判断によってください。また、本レポート掲載資料は、当金庫が信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当金庫が正確性および完全性を保証するものではありません。

「たてしん」近況のご報告

よい仕事おこしフェア実行委員会と館山市 包括連携協定締結式



1月11日、全国の信用金庫でつくる「よい仕事おこしフェア実行委員会」と館山市が包括連携協定を締結しました。これは、千葉県内の自治体としては初めてとなります。

本協定は、地域活性化と産業振興に向けて連携する内容で、よい仕事おこしネットワークを活用して、館山の魅力発信や地元産品のPRなどに協力して取り組む予定です。

具体的には、よい仕事おこしフェアへの出展や「よい仕事おこしプラザ」を活用し、館山市や地元産品のPR、商談会などを展開します。

「菜の花エール」の仕込み式



2月9日、館山市の名産品の菜の花を使ったビール「菜の花エール」の醸造に向けた仕込み式が、東京都大田区の「よい仕事おこしプラザ」で開催され、当金庫も出席しました。

全国の信用金庫でつくる「よい仕事おこしフェア実行委員会」と館山市で、今年1月に結んだ包括的連携協定に基づく取り組みです。

会場では、報道関係者などに館山市の観光情報や移住定住のPRなども行われました。

たてしん経営者会 意見交換会



2月27日、当金庫の取引先企業の若手・後継経営者・幹部らで組織する「たてしん経営者会」と、安房3市1町や県担当者による意見交換会が当金庫の本店で開催されました。

意見交換会では、県よろず支援拠点のチーフコーディネーターが、安房地域の経済や消費動向、事業者の抱える課題などについて、各市町の担当者が道の駅の取り組み、県経済政策課担当者が県の中小企業支援施策について説明し、地域全体でのPRや道の駅の機能の活用などについて意見を交わしました。

新小学1年生入学祝い品贈呈式



3月12日、安房地域の新小学1年生への入学祝い品として文房具セットを安房3市1町の教育委員会に寄贈しました。地域密着の金融機関として地域の子どもたちに少しでも支援ができればと思い昨年度より実施しています。

今回はクリアファイル1枚と鉛筆2本、消しゴム2個のセットを新小学1年生564人に贈りました。

たてしんはこれからも地域の子育て世代を応援し、地域と共に皆様と共に歩んでまいります。

第7回平砂浦海岸植樹事業



3月16日、館山市平砂浦海岸で役員・職員総勢56人がボランティアで植樹活動を行いました。

平砂浦海岸は「日本の白砂青松100選」に選ばれていますが、近年は松枯れが深刻化して更地になった場所も目立ち、飛び砂も問題になっています。

当金庫は、地域の豊かな自然環境を守ることをテーマの1つに掲げ、植樹活動を創立90周年事業として始めて今年で7回目を迎えました。今回はクロマツなど計200本を植え、7年間の合計で1,400本となりました。

第8期大学生モニター委嘱式

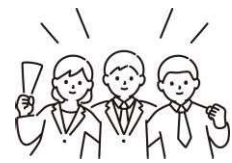


3月18日、地域の企業、個人で組織する「房創人財育英基金」の大学生モニター制度で8期生のモニター委嘱式が当金庫本店で開催されました。

春から大学生となる安房地域3高校出身の学生5人が来年度の委嘱を受け、令和6(2024)年度のモニター一生は21人となりました。また、今春大学卒業の4期生5人に感謝状が贈られました。

委嘱式後には、モニター一生によるレポート発表や房創人財育英基金の会員らとの意見交換も行われました。

移住事業者特集



たてしんでは、移住・創業のお手伝いにも力を入れています。
この特集では、移住して南房総で事業を行う個性的な事業者を紹介します。

永森昌志さん

合同会社AWATHIRD

【平成25(2013)年移住／平成22(2010)年創業】

移住・創業のきっかけ

出身は東京で、広告関連の仕事をしていました。平成19(2007)年頃から都心から離れる時間が欲しくて今で言う二拠点生活を始め、平成22(2010)年に仕事で独立し、平成25(2013)年に南房総に完全移住しました。当時は東京との行き来も多かったのですが、だんだん行政や地域との仕事が増え、「南房総市公認プロモーター」に任命され、南房総での仕事が主になりました。

事業内容

南房総市三芳エリアにある都市部と南房総をつなぐ交流拠点「ヤマナハウス」の運営、地元で活躍する地域プレイヤーに協力してもらって関係人口を増やすイベントやツアー等の企画運営や宿泊業など、基本的に都心から人を連れてきて南房総とつなぐような仕事をしています。こういった事業には地域のつながりが必要不可欠なので、地域事業者とのつながりが強い「たてしん」から情報を提供してもらえることはとても心強いですね。

今後の展望

南房総で考えられている地域課題はネガティブに捉えられがちですが、ポジティブに地域資源として変換できると思っています。例えば、空き家が増えている問題であれば、空き家を購入しDIYなどで自分で修繕したり、空き家を利用して事業を始めたりすることで、空き家の利活用になるとともに移住や起業など地域の活性化にもつながります。令和5(2023)年に実際の空き家を使ったDIY講座を実施し、令和6(2024)年春にも予定しているのですが、どちらもすぐに満席となり、地域外からの空き家への関心度の高さを感じました。これからも地域課題を地域資源として活かす取り組みや情報発信をしていきたいと考えています。



公式HP



イエニルメズ・アリさん

FUGAダイニング

【令和2(2020)年移住／令和3(2021)年創業】

移住・創業のきっかけ

トルコから日本に来たのは平成2(1990)年です。最初は観光でしたが、すっかり日本にハマってしまって、飲食関係の仕事で東京でずっとしていました。一度は故郷に帰ったのですが、平成30(2018)年に東京に戻ってきて、しばらくして知り合いのいた南房総市白浜に行っただけです。そこでいろいろな人と出会って知り合いになり、やっぱりこれまでやってきた飲食店をこの地域でやりたいなと思い、そこで薦められたのが今のお店がある館山でした。「たてしん」をはじめ、周りの人に助けってもらって、令和3(2021)年にオープンさせました。

事業内容

館山駅から徒歩3分くらいのところで、トルコやイタリアなどヨーロッパの料理を出す居酒屋をやっています。常連さんのリクエストでラーメンやカレーもはじめました。館山は東京から近くて日帰りできるし別荘もあるし、一年中アクティビティがあって遊びに来やすいところなので、都会からのお客さんが多いです。夜だけの営業なので、地元の方は、2次会や3次会で寄ってくれる人が結構います。



- ・住所：
館山市北条2576-13
- ・問い合わせ：
080-5508-2696
- ・営業時間：17:00~0:00

今後の展望

館山はめっちゃいい街で東京に出かけてもすぐ帰りたくなります。海がきれいだし、友人知人にとっても良くしてもらっているし、毎日が楽しくて、館山に来たことはディスティニー(運命)だと思っています！空き家を購入したので、2年後には家族も館山に呼んで暮らせればと準備をしています。